

令和 5 年度第 2 回労働福祉審議会開催結果について

日時：令和 6 年 2 月 1 4 日（水） 1 0：0 0～1 1：0 0

場所：狭山市産業労働センター 2 階 異業種交流スペース

<内容>

1. 開会

2. 挨拶

3. 副会長の選出

【選出結果】

副会長 朝川伸広委員

4. 議事

（1）令和 4 年度・5 年度労働行政について

【質疑】

委 員：狭山市には中小企業が多いが、ここで最低賃金が変わったことによる効果は把握しているか。

事 務 局：最低賃金については、産業労働センター及び商工会議所におけるデジタルサイネージなどで周知しているが、その具体的な効果は現在のところ把握していない。

委 員：3 ページの中小企業退職金共済制度加入促進事業について、令和 2 年度から対象人数と事業所数が年々減っているが、令和 5 年度の状況はどうか。

事 務 局：令和 5 年度につきましては、現在申請受付中であり、正確な数値は分からないが、過去 3 年の平均程度で考えており、急激な変動はないと思われる。次回の報告の際に正確なものを提示させていただく。

（2）産業労働センターの更なる活用方法について

【内容】第 1 回の審議会で令和 6 年度実施予定の旨を説明したが、財政的な部分も含め、実施困難なことが判明したため、時期を延期し、令和 7 年度以降に実施とする旨を説明。

【質疑】

委 員：昨今、資材等が高騰し、工事費の増額が見込まれる。これを財政部局が認めてくれるのか。委員の意見に沿う形での改修工事ができるように尽力してもらいたい。

委 員：確かに物価高騰が著しい。狭山市でない別の事例だが予算の 1.6 倍もかかった建物もあった。

事務局：実際、改修について人件費の高騰が問題点の 1 つになっている。その一方で、産業労働センターの機能にある意味尖らせて、事業者にも労働者にも使いやすい施設にしていくという検討のなかで、思いのほか事業費が膨らんでいるほか、より良い施設とするための準備時間をいただきたいという思いで、開始時期の延期をすることになった。

委員：産業労働センターには狭山市ふるさとハローワークが入っており、レイアウト変更をされる際には、併せてシステムの移動など、ハード面での移動が必要になる。移動の予算はハローワーク単独で持っているわけではないため、早めに情報提供をいただきたい。

事務局：ふるさとハローワークの移動には時間が掛かることは、以前から聞いているが、改めて早めの情報提供に努めさせていただく。

【その他質疑】

委員：昨今、労働事故等が目立っている。労働安全に係る研修やセミナーについて検討しているか。

事務局：現時点で具体的な労働安全に関する研修会やセミナーは計画していないが、重要なことであると認識している。

委員：ちょっとしたミスで事故が起こる。労働安全に係る研修を再度実施したほうが良いと思う。

事務局：今後の研修計画として検討する。

委員：企業でも意外と事故が多い。安全衛生委員会なども行っているが予防しきれていない。

委員：長時間労働について、市内の建設現場では市内在住の方はほとんどおらず、逆に狭山市在住の方は神奈川や千葉など遠方に行っている状況である。請負額には通期時間は加味されず、実際には通勤時間で長時間労働になってしまっている状況であることを認識してもらいたい。狭山市では公契約条例を制定していないので、労働者や企業を守るためにも公契約条例を前向きに検討してもらいたい。

事務局：公契約条例に関しては、以前から要望をいただいているかと思うが、当審議会でもそのような要望があった旨は担当部署に伝える。

委員：狭山市にはぜひ先駆けになっていただきたい。

委員：現在の狭山市の人口状況はどうなっているか。

事務局：自然減が大きいため、全体で見ると減少しているが、いわゆる社会増については、若い世代を呼び込むという施策の効果もあってか、直近数年でプラス傾向になっている。

委員：新しい家屋が建つとすぐに売れている状況をよく見かける。もっと人口が増えている印象があるが。

事務局：住宅系で区画整理が終わったところは、住宅用地が多くあり、そういうところは都心からの距離や不動産の相場の側面から見ても、若い世代が住みやすいエリアとなっており、そのような学区では子供も多く、教室が足りない状況となっている。ただ他の地区が同じような状況かという点、逆に学級が1クラスしかないような学校もあり、市のなかでも濃淡がある。狭山市としては、社会増のところを目指し、新しく転入していただく、また、市内で働いていただくという方を多く生み出していきたいというふうに考え、施策を行っている。

委員：狭山市駅から産業労働センターまで歩いてくる通路は市の管理か。産業労働センターに入っているふるさとハローワークの周知として、ここまでの通路に看板を設置しようとした際、どこに相談すれば良いか。

事務局：狭山市駅の東口と西口をつなぐ、いわゆる東西自由通路から歩いてこのスカイテラスという一角に来るまでは狭山市が管理しており、通路から中の部分は管理組合で管理している。歩行者デッキのところは市で管理している部署がある。ある程度具体的な計画をもらえれば、それを基に調整させていただく。

委員：産業労働センターの利用者向けに案内板があったほうが良いのでは。

事務局：これについては、事務局でも課題だと認識しており、そういった周知は必要だと感じている。

委員：入曽の駅前に労働相談所を設けることは考えていないのか。行政機能は入間川に集中している。

委員：入曽交流センターはどうか。

事務局：交流センターの会議スペースを利用して、労働相談等の取組みを行うことは可能である。産業労働センターの機能としては現在地に集約し、各取り組みは利用者に利用しやすい場所で行うという考え方になる。

委員：行政機能は市のなかでも地域によって差があるように思う。道路の修繕の面からみても顕著である。

委員：市の予算を出してもらえないか。

事務局：市の予算の割合は近年、福祉部門の民生費が多くを占めており、元々ある街を維持していくという建設部門の土木費に多くの予算を投入できていない状況である。この傾向はますます強くなっていくと考えられる。インフラの維持は大きな課題であると捉えているが、優先順位をつけながら実施していく必要があるなかで、皆様の意見を聴き、合意形成をしながら進めていくしかないと考えている。